

## あきた未来総合戦略における基本目標ごとの進捗状況について

## 基本目標1 産業振興による仕事づくり

## (1)数値目標及びその達成状況

数値目標	現状値(H30)	目標値(R03)	実績(R03)	達成率(%)
製造品付加価値額(従業員4人以上の事業所) 令和6年に 6,724億円	5,772 (H29)	6,298	未判明 (R5.8判明)	—
農業産出額 令和6年度に 1,971億円	1,843	1,888	未判明 (R4.12月判明)	—
延べ宿泊者数 令和6年度に 4,100千人泊	3,505	3,800	2,626	69.1

## (2)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

達成	未達成	なし・未判明
5	15	14

## (3)進捗状況

- 製造品付加価値額の令和3年実績値は未公表だが、最新の統計である令和元年確報値では4,942億円(前年比△1.8%)であり、これは3年目標値の78.4%の水準となっている。元年は米中貿易摩擦等の影響を受けたものと思われる。一方、2年～3年は新型コロナウイルス感染症の拡大により多くの産業に様々な影響が生じていると考えられるが、一部産業で好調な動きがあり、令和3年度は全体として堅調な動きであった。
- 農業産出額については、同じく令和3年実績値が未公表だが、2年実績が1,898億円と令和3年の目標値を上回る実績となっている。コロナ禍に起因する米価の低下により、米の産出額は減少したものの、これまでの「複合型生産構造への転換」に向けた各種施策の実施により、野菜や畜産など米以外の産出額が過去20年間で最高となっている。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、イベントや催事が中止となるなど全国的に観光客が減少している中、県内在住者を対象とした県内観光旅行商品や宿泊代金の割引事業(以下「県民割等」という。)の実施により、延べ宿泊者数は目標には届かなかったものの、前年度並みの実績を確保するなどの一定の成果はあった。
- 一方で、コロナ禍で変化した新たな旅行ニーズに対応するため、秋田ならではの地域資源等を活用したコンテンツづくりや販路確立、情報発信を支援したほか、誘客・周遊イベントの開催など、次年度以降の誘客につながる各地域の取組に対して支援を行った。

## 基本目標2 新しい人の流れづくり

## (1)数値目標及びその達成状況

数値目標	現状値(H30)	目標値(R03)	実績(R03)	達成率(%)
本県への移住者数 令和6年度に 700人	459	550	669	121.6
Aターン就職者数 令和6年度に 1,300人	1,134	1,300	1,183	91.0

## (2)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

達成	未達成	なし・未判明
5	4	2

## (3)進捗状況

- 本県への移住者数は、首都圏相談窓口におけるきめ細かな相談・支援対応や、市町村の取組の進展等により年々増加しており、令和3年度はコロナ禍における地方回帰志向の高まりと相まって、対前年度比93人増(+16.1%)となり、目標を上回った。
- Aターン就職者数については、新型コロナウイルス感染症の拡大により予定した6回のAターンフェアのうち2回が中止となり、また、就職面接に有効な対面型での開催も1回に留まったこと等により、目標には届かなかった。
- 若者の県内定着の促進について、「高校生の県内就職率」の実績は未判明であるが、秋田県高等学校卒業者の進路状況調査によれば、75.4%となり、目標を上回る見込みとなっているほか、「県内大学生等の県内就職率」は前年度より上昇し、48.5%であったものの、目標(R3目標:51.0)には届かなかった。

## 基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる社会づくり

## (1)数値目標及びその達成状況

数値目標	現状値(H30)	目標値(R03)	実績(R03)	達成率(%)
婚姻率 令和6年に 3.1	3.1	3.1	2.8	90.3
合計特殊出生率 令和6年に 1.54	1.33	1.41	1.22	86.5
女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定企業数 (従業員数300人以下の企業) 令和6年度に 540社	174	360	440	122.2

## (2)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

達成	未達成	なし・未判明
7	9	2

## (3)進捗状況

- 婚姻率の概数値は、前年度実績値(2.8)と同率であったが、目標値には達しなかった。(22年連続で全国最下位となる見込みである。)
- あきた結婚支援センターへの成婚報告者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した令和2年度からは持ち直したものの、(R1:162人 → R2:103人 → R3:129人)、目標値には達成しなかった。
- 合計特殊出生率の概数値は、前年の実績値(1.24)を下回る(1.22)となり、目標値には達しなかった。
- 子育て世代包括支援センターは令和2年度中に全市町村に設置され、目標を達成した。
- あきた子育てふれあいカード協賛店舗の新規登録数は、令和2年度からの累計で124となり、目標を達成した。
- 「あきた女性活躍・両立支援センター」の女性活躍・両立支援推進員3名による企業訪問(1,263社)を通じ、一般事業主行動計画の策定について普及啓発を強化した結果、女性活躍に対する企業の理解と関心は深まり、令和3年度の計画策定企業数の実績値は目標値を上回った。

## 基本目標4 新たな時代に対応した地域づくり・人づくり

## (1)数値目標及びその達成状況

数値目標	現状値(H30)	目標値(R03)	実績(R03)	達成率(%)
日常生活に必要なサービス機能が不十分と感じている人の割合 令和6年度に 40%	48.7	44.4	45.4	97.8
社会活動・地域活動に参加した人の割合 令和6年度に 70.0%	62.1	66.0	54.4	82.4

## (2)施策ごとの重要業績指標(KPI)の状況

達成	未達成	なし・未判明
9	11	1

## (3)進捗状況

- 「日常生活に必要なサービス機能が不十分と感じている人の割合」は、平成30年度の48.7%から3.3ポイント減少したが、前年比では1.9ポイント増加している。
- 「社会活動・地域活動に参加した人の割合」は、平成30年度の62.1%から7.7ポイント減少し、目標には届かなかった。これについては新型コロナウイルス感染症の影響により、対外的な活動自体が減ってしまったこと、活動への参加を控えようとする人が増えたことが要因として考えられる。